

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3390200560
法人名	医療法人 養命会
事業所名	グループホーム養命荘
所在地	岡山県倉敷市福田町福田2374-5
自己評価作成日	令和 3 年 11 月 15 日
評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/33/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3390200560-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/33/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3390200560-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社アウルメディカルサービス
所在地	岡山市北区岩井二丁目2-18
訪問調査日	令和 4 年 3 月 9 日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様と職員と一緒に楽しめるイベントを実施しています。メダカの飼育を始め、エサやりが日課となりました。野菜も畑いっぱい苗を植え、水やりから収穫まで、年中の役割となる日課を考えました。外出が出来ず、面会の制限もありますが、ストレスを軽減できるように、職員一丸となって取り組んでいます。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者の人気者であるワンちゃんが愛想良く出迎え、一つの仕事を終わらせて次の仕事に向かった。そんな有難いおもてなしを受け、この職員にいくら給与を払っているのだろうか？リビングでは、利用者の声が響き渡り盛り上がり、賑やかな様子を運ぶ如く、笑顔を振りまいていた。職員も利用者への呼びかけ対応も「ちょっと待って」という言葉を「これが終わったら、すぐ行くね」のロックを解き、拘束を真摯に考えた職員の「人に対する対応の良い変化」で成長したことを、管理者も「職員が自慢」と語る！却って、仲が良すぎて職員の注意の仕方に気を遣いすぎている傾向も見受けられ、普段着の付き合いが、少ししか綻ばない。叱ることを悩み、管理者も成長の一歩としている。先日、地域の親子が、施設の前で魚捕りをしていて、尋ねたら「ちいちゃいスポンだよ」と見せてくれ、利用者も「こんなにいっぱい捕れるの？」と、肩を踊らせていたそう。内でも外でも人のコミュニケーションがコミュニケーションを産んでいる施設で、コロナ禍であるが、この素晴らしさをもっと広報して頂きたい。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念を事務室、各ユニットキッチン内の3か所に掲示し常に意識することができています。ミーティング時に再確認も行っています。	月1回のミーティング時に理念の確認を行い、職員と共有している。職員が楽しく仕事ができ、利用者に優しく接していこうという管理者の思いがあり、伝えて浸透できるようにしているからこそ、実際に職員・利用者の生き活きた姿を見ることができた。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の子供会の廃品回収には、協力できている。	2～3ヶ月に1回ある子供会の廃品回収に利用者と共に参加している。散歩の際に、近隣住民から花を貰ったり、挨拶を交わしたりすることもある。学童の通学路になっているので、毎朝手を振る関係となっている。用水路で近隣住民がスッポンを捕ったことで交流が深まった。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域貢献はできていませんが、施設周辺の雑草や落ち葉がご近所の迷惑にならないよう 春から秋にかけ入居者様と一緒に草取りや掃除に取り組んでいます。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議が、開けていない。	コロナ以前は、2つの町内会の民生委員、土木委員、前の民生委員、他施設の管理者、ドクターの繋がりの施設、地区の高齢者支援センターの人が参加していた。現在は、電話にて会議の結果報告をしている。「元気ですか？大丈夫ですか？」との意見を頂き、それが励みになっている。	書面での会議にとどまらず、新しい運営推進会議をして、新しい参加者から情報収集をしてはいかがでしょうか？
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業所の運営についてわからないことがあれば、その都度相談しアドバイスを受けています。	窓口は東の管理者で、何かわからないことがあれば、指導監査課に問い合わせるとすぐに教えてくれる関係が形成されている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居者様の安全確保と不審者の侵入防止の観点から玄関の施錠は続けています。	身体拘束はなく、「無縁です」と即答。3ヶ月に1回身体拘束委員会と年1回社内研修を実施して、身体拘束についての知識を深めている。マニュアルを整備し、スピーチロックへの配慮から「これが終わったら行くよー」との言葉かけをしている。安全に配慮して玄関のみ施錠をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティングや身体拘束委員会時、虐待防止についての勉強会を行っています。職員が他の職員の介護で気になる事があれば管理者に報告、相談できるようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ミーティング時に勉強会を行っています。今後も勉強を重ね理解を深めていきたいと考えています。個々の必要性については 毎月のカンファレンスで現状を観察、報告し検討しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書をご本人、ご家族、管理者でそれぞれ携帯し、説明書に沿って説明、解説し理解いただき 納得していただいております。ご意向はしっかりと聞くように努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見の書ける用紙の郵送をひかえています。	家族の意向は、ケアプラン作成時に聞き、必ず管理者がさらに電話連絡をするようにしている。利用者の意向は、普段の介護計画やケアプラン更新時に話をするだけでなく、利用者の好きなことから会話を始めることで意見を言いやすくしている。	家族への意見を反映させる為に、今から少しずつ意見が出やすいように投げかけてみてはいかがでしょうか？
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に全体ミーティングやユニットミーティングを行っています。管理者は職員の意見を代表者や顧問社労士に伝えています。	職員の有給や手当、処遇改善の話をミーティングやユニット会議で話し合い、理事長に相談するようにしている。管理者同士も仲が良いので、その雰囲気職員にも広がっている。職員全体の和ができていて、何でも言える関係となっていて、現に何でも話している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者には毎日管理者が日々の業務、入居者様の様子、職員の勤務状況を報告しています。また、定期的に管理者が職員の勤務態度や実績について評価報告しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修は受けていません。社内研修の内容をさせました。資格取得については積極的に奨励し、資格取得費用の補助も行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2か月に一度、運営推進会議中止の連絡時に電話で交流、意見交換しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前に管理者と計画作成担当者が面接に行き、ご本人様、ご家族様の要望など意向をお聞きし、不安の解消に努め、安心して生活できるように支援しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会の際に、施設での生活でご家族が不安に思うことや要望がないかお聞きしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前と入居後には、管理者と計画作成者と職員でカンファレンスを実施し、その時々で必要なケアの対策支援を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	それぞれの入居者様にできることをしていただき、役割をもって家庭的な雰囲気の中で共同生活がおくれるように支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、ご本人の状況をお伝えし、ご家族様の要望をお聞きしています。他病院への定期通院など、ご家族様にご協力をしていただいています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	玄関ドアのガラス越しや窓ガラス越しになります。ご面会には来ていただけるようお声をかけています。	歩行訓練を兼ねて、ユニット間を行き来し、利用者同士の交流がある。家族が面会に来た際に「家に入りねー」と居室に迎え入れようとする利用者もいて、GHが自分の家となり、馴染みの場所ともなっている。近隣の桜の木の下が馴染みの場所となり、満開の日が待ち遠しい。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご入居者様同士の関係を把握しレクリエーションの順番や席に配慮しています。また、洗濯物を畳んだり、食器やお盆の片付けなど同じ役割を共有し協力しながら共同生活を楽しめるように支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も必要に応じて、ご家族様の相談を受けています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中から、ご本人の思いを把握しようと努めています。困難な場合は、ご家族様や日々の生活の中から見つけるように努めています。	話をできない人は現在いないので、利用者の好きなこと〔食べ物や運動、塗り絵など〕から話を始めて、意見を聞き入れやすくしている。利用者はどの職員に対しても何でも言える関係ができ、職員を娘のように甘えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様との会話の中からや、ご家族様から今までの生活歴をお聞きしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の生活を見守りどう過ごしているか、どのように支援したかを生活記録に残しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアチェック表をもとに、入居者様の訴えや希望を考えカンファレンスを行っています。ケアプランの内容に意向を取り入れて、作成しています。	介護計画は、入所時のアセスメントシートを参考にしている。それを6ヶ月毎に更新している。モニタリングも半年に1回行い、過去の記録を見直して、カンファレンスの際に活かしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は介護記録に記録しています。特に職員間で共有が必要な内容(主治医のアドバイスなど)については申し送りノートや受診ノートを活用し全員で確認しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様やご家族様の意向をお聞きして、出来る範囲で応えられるように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事を把握し、積極的に参加していましたが、今年度はできていません。散歩の時には、地域の方や子供たちとの会話を楽しまれ、花や野菜作りを見学させていただいています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に主治医の往診や歯科の往診を受けています。体調に変化があれば、すぐに主治医に連絡し、対応を相談しています。	入居時にかかりつけ医は母体の病院に転医される方がほとんどである。かかりつけ医を変えない人は、家族に連れて行って頂いている。他科へは、母体の病院が紹介した病院へ診察して頂いている。訪問歯科が週1回往診され、歯磨き指導などをして嚥下にも役立っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在、看護師資格を保有している職員が在職しています。かかりつけ医の看護師と常に連絡、相談ができる体制がとられています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には入院先の医療機関に施設での生活の様子を情報提供をしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にご本人様・ご家族様に相談していますが、体調に変化があった時には主治医を含めて再度説明を行い、理解を得ています。	ターミナルは実施していない。入居時にできること、できないことを説明して、同意を得ている。ギリギリまでGHIに居て、病院に転院された人がいて、今まで「よく頑張ってくれた」とのお褒めの言葉を貰ったことが、より一層の励みになっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故の発生に備え、職員会議の場で話し合いや勉強会を行っています。日中や夜間の緊急対応についてのマニュアルを作成しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	今年度は、夜間想定防災訓練を実施しました。地域の防災訓練の実施はありませんでした。	年2回、火災訓練を昼夜想定で実施した。備蓄は3日分で、水、ビスコ、カンパン、お粥を保管している。普段のお菓子も備蓄となっている。事務所に連絡網、交流室にハザードマップを掲示し、万が一のときの対応もスムーズにできる計らいもしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけや対応にその方の尊厳を失わないように、日頃から心掛けています。自立されている入居者様は、奥のトイレに誘導したり、直接的な表現はしないよう言葉遣いに気を付けています。	呼称は、管理者の思いもあって、あえて下の名前で呼ぶようにしている。利用者の呼んでほしいように呼んでいる。喋れない人には、必ず言葉掛けをして、表情や仕草で読み取るようにしている。居室に入る時は必ずノックをして「入ります」と言葉をかけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々係る中で、ご本人様が自分の思いを自由に表せるような雰囲気を作り、声をかけるようにしています。また、ご本人様に何でも決定できるような働きかけを行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人様のペースを尊重しながら、生活を送っていただけるよう心掛けています。その日に何をしたいかなどを問いかける工夫をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	気候に合った身だしなみが行えるように、アドバイスをしています。また、ご自身で選択ができない場合には職員が声掛けをしながら、一緒に服を選ぶようにしています。また、女性の入居者様にはイベント時にお化粧をさせていただいたりしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を外部の業者に委託しているため、片付けや洗い物は一緒にしています。時間に余裕をもって味噌汁作りやイベント時には調理も手伝っていただき、一緒に食事時間を作るようにしています。	食事はケイタリングだが、月1回のイベントで焼きそばを作り、職員同士が和気藹々として作っている様子を目の当たりにした。職員も利用者と一緒に食事するので食卓の雰囲気が良く、会話が飛び交い、みんなの笑顔が印象的だった。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量は摂取ごとに記録しています。水分はなかなかとりにくい方もおられるので何種類か飲み物を用意し、提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアをしていただけるように声掛けや見守り、介助を行っています。希望者には訪問歯科による歯科診療・口腔ケアを行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を使用し、個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っています。また、職員間での情報共有や情報交換に努めています。夜間頻尿や日中失禁回数の多い入居者様にはトイレ誘導の回数を増やしています。	各ユニット3か所ある。排泄チェック表を活用しているため、スムーズにトイレへの誘導ができています。排泄失敗時には、「大丈夫、大丈夫」と言って、周りにわからないようにパット交換をパットとしている。羞恥心に配慮して接している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	職員会議の際に、便秘についての勉強会を開き原因対策を学んでいます。適度な運動、水分摂取ができるように心がけできるだけ薬に頼らず排便ができるように取り組んでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	体調を考慮し声掛けを行っています。一人一人の希望を聞いて湯の温度を変えたり入浴剤を入れ入浴時間を楽しんで頂いています。	基本は週2回だが、夏場は週3回。窓からは広大な自然の風景が眺められ、湯船に浸かると落ち着く。浴槽にチェアを導入したことで、安全に入浴できるようになった。「ワンちゃんと一緒に入ろう」と言葉かけをして、お風呂へ誘導していて、入浴剤も楽しむ効果が大である。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人様のペースに合わせて休息をいただいています。また、就寝に向けてリラックスできるような工夫を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人のお薬情報を整理してファイルに保存しています。個別の薬ケースで薬を管理しています。服薬確認の際には名前、日付を声に出し確認してから服薬していただいています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	テーブル拭き、洗濯物の干し、畳み食器洗いなど、その人その人ができることを役割としていただけよう働きかけを行っています。また、それぞれがやりたいことができる時間を作っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩の付添いのみの支援でした。	遠出が出来ないので、近隣の桜の木の下に散歩へ行った。ボール・紙風船やラケットでボールを打ったり、ダンスや歌、クイズ大会などを開催して、フラストレーションを解消している。気楽にエアロバイクにまたがれ、運動不足の解消を図っている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預り金として事務所の金庫に保管しています。外出困難なため入居者様がお買い物や支払いをされるような支援はできませんでした。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	要望があればすぐに対応しています。いつでも自由にやり取りができます。写真入りの年賀状も出せるように支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	整理整頓を心掛け、季節のお花をご入居者に生けていただき飾っています。フロアでも季節感ができるように職員とご入居者で飾り物を作り、デコレーションしています。室内温度、湿度にも気を付けてこまめに調節するように心掛けています。	玄関に節分、ひな祭りの行事の写真が飾られていて、職員・利用者の笑顔で元気な様子を見ることができた。リビングでは、毎朝の体操を実施することで健康維持に繋げている。壁面には、利用者の作成した塗り絵やひなまつりの作品が飾られていて、リビングを賑やかしていた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル席やソファを配置し、ご入居者様同士が自由に行き来し、くつろげる工夫をしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使い慣れた家具や思い出の品々などを居室に持参してもらっています。家庭的な雰囲気を作り、心地よく過ごしていただけるように工夫しています。	備え付けは、必要最小限のベット、エアコン、カーテンで装い、大好きなぬいぐるみを置いたり、読書をしたりして、自分の好きに工夫できる居室になっている。壁面には、カレンダーに毎日の日記をつけたり、誕生日の色紙を飾っていて、生きている証を見ることができた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ユニット内・居室内の整理整頓を心掛け、転倒防止に努めています。また、施設内のほぼすべての場所には手すりを配置し、トイレの場所もわかりやすいようにポスターも掲示しています。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3390200560
法人名	医療法人 養命会
事業所名	グループホーム養命荘
所在地	岡山県倉敷市福田町福田2374-5
自己評価作成日	令和 3 年 11 月 15 日
評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/33/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3390200560-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/33/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3390200560-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社アウルメディカルサービス
所在地	岡山市北区岩井二丁目2-18
訪問調査日	令和 4 年 3 月 9 日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様と職員と一緒に楽しめるイベントを実施しています。メダカの飼育を始め、エサやりが日課となりました。野菜も畑いっぱい苗を植え、水やりから収穫まで、年中の役割となる日課を考えました。外出が出来ず、面会の制限もありますが、ストレスを軽減できるように、職員一丸となって取り組んでいます。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者の人気者であるワンちゃんが愛想良く出迎え、一つの仕事を終わらせて次の仕事に向かった。そんな有難いおもてなしを受け、この職員にいくら給与を払っているのだろうか？リビングでは、利用者の声が響き渡り盛り上がり、賑やかな様子を運ぶ如く、笑顔を振りまいていた。職員も利用者への呼びかけ対応も「ちょっと待って」という言葉を「これが終わったら、すぐ行くね」のロックを解き、拘束を真摯に考えた職員の「人に対する対応の良い変化」で成長したことを、管理者も「職員が自慢」と語る！却って、仲が良すぎて職員の注意の仕方に気を遣いすぎている傾向も見受けられ、普段着の付き合いが、少ししか綻ばない。叱ることを悩み、管理者も成長の一歩としている。先日、地域の親子が、施設の前で魚捕りをしていて、尋ねたら「ちいちゃいスポンだよ」と見せてくれ、利用者も「こんなにいっぱい捕れるの？」と、肩を踊らせていたそう。内でも外でも人のコミュニケーションがコミュニケーションを産んでいる施設で、コロナ禍であるが、この素晴らしさをもっと広報して頂きたい。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)		

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念を事務室、各ユニットキッチン内の3か所に掲示し常に意識することができています。ミーティング時に再確認も行っています。	月1回のミーティング時に理念の確認を行い、職員と共有している。職員が楽しく仕事ができ、利用者に優しく接していこうという管理者の思いがあり、伝えて浸透できるようにしているからこそ、実際に職員・利用者の生き活きとした姿を見ることができた。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の子供会の廃品回収には、協力できている。	2～3ヶ月に1回ある子供会の廃品回収に利用者と共に参加している。散歩の際に、近隣住民から花を貰ったり、挨拶を交わしたりすることもある。学童の通学路になっているので、毎朝手を振る関係となっている。用水路で近隣住民がスッポンを捕ったことで交流が深まった。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域貢献はできていませんが、施設周辺の雑草や落ち葉がご近所の迷惑にならないよう 春から秋にかけ入居者様と一緒に草取りや掃除に取り組んでいます。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議が、開けていない。	コロナ以前は、2つの町内会の民生委員、土木委員、前の民生委員、他施設の管理者、ドクターの繋がりの施設、地区の高齢者支援センターの人が参加していた。現在は、電話にて会議の結果報告をしている。「元気ですか？大丈夫ですか？」との意見を頂き、それが励みになっている。	書面での会議にとどまらず、新しい運営推進会議をして、新しい参加者から情報収集をしてはいかがでしょうか？
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業所の運営についてわからないことがあれば、その都度相談しアドバイスを受けています。	窓口は東の管理者で、何かわからないことがあれば、指導監査課に問い合わせるとすぐに教えてくれる関係が形成されている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居者様の安全確保と不審者の侵入防止の観点から玄関の施錠は続けています。	身体拘束はなく、「無縁です」と即答。3ヶ月に1回身体拘束委員会と年1回社内研修を実施して、身体拘束についての知識を深めている。マニュアルを整備し、スピーチロックへの配慮から「これが終わったら行くよー」との言葉かけをしている。安全に配慮して玄関のみ施錠をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティングや身体拘束委員会時、虐待防止についての勉強会を行っています。職員が他の職員の介護で気になる事があれば管理者に報告、相談できるようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	ミーティング時に勉強会を行っています。今後も勉強を重ね理解を深めていきたいと考えています。個々の必要性については 毎月のカンファレンスで現状を観察、報告し検討しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書をご本人、ご家族、管理者でそれぞれ携帯し、説明書に沿って説明、解説し理解いただき 納得していただいております。ご意向はしっかりと聞くように努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見の書ける用紙の郵送をひかえています。	家族の意向は、ケアプラン作成時に聞き、必ず管理者がさらに電話連絡をするようにしている。利用者の意向は、普段の介護計画やケアプラン更新時に話をするだけでなく、利用者の好きなことから会話を始めることで意見を言いやすくしている。	家族への意見を反映させる為に、今から少しずつ意見が出やすいように投げかけてみてはいかがでしょうか？
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に全体ミーティングやユニットミーティングを行っています。管理者は職員の意見を代表者や顧問社労士に伝えています。	職員の有給や手当、処遇改善の話をミーティングやユニット会議で話し合い、理事長に相談するようにしている。管理者同士も仲が良いので、その雰囲気職員にも広がっている。職員全体の和ができていて、何でも言える関係となっていて、現に何でも話っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者には毎日管理者が日々の業務、入居者様の様子、職員の勤務状況を報告しています。また、定期的に管理者が職員の勤務態度や実績について評価報告しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修は受けていません。社内研修の内容をさせました。資格取得については積極的に奨励し、資格取得費用の補助も行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2か月に一度、運営推進会議中止の連絡時に電話で交流、意見交換しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前に管理者と計画作成担当者が面接に行き、ご本人様、ご家族様の要望など意向をお聞きし、不安の解消に努め、安心して生活できるように支援しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会の際に、施設での生活でご家族が不安に思うことや要望がないかお聞きしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前と入居後には、管理者と計画作成者と職員でカンファレンスを実施し、その時々で必要なケアの対策支援を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	それぞれの入居者様にできることをしていただき、役割をもって家庭的な雰囲気の中で共同生活がおくれるように支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、ご本人の状況をお伝えし、ご家族様の要望をお聞きしています。他病院への定期通院など、ご家族様にご協力をしていただいています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	玄関ドアのガラス越しや窓ガラス越しになります。ご面会には来ていただけるようお声をかけています。	歩行訓練を兼ねて、ユニット間を行き来し、利用者同士の交流がある。家族が面会に来た際に「家に入りねー」と居室に迎え入れようとする利用者もいて、GHが自分の家となり、馴染みの場所ともなっている。近隣の桜の木の下が馴染みの場所となり、満開の日が待ち遠しい。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご入居者様同士の関係を把握しレクリエーションの順番や席に配慮しています。また、洗濯物を畳んだり、食器やお盆の片付けなど同じ役割を共有し協力しながら共同生活を楽めるように支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も必要に応じて、ご家族様の相談を受けています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中から、ご本人の思いを把握しようと努めています。困難な場合は、ご家族様や日々の生活の中から見つけるように努めています。	話をできない人は現在いないので、利用者の好きなこと[食べ物や運動、塗り絵など]から話を始めて、意見を聞き入れやすくしている。利用者はどの職員に対しても何でも言える関係ができ、職員を娘のように甘えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様との会話の中からや、ご家族様から今までの生活歴をお聞きしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の生活を見守りどう過ごしているか、どのように支援したかを生活記録に残しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアチェック表をもとに、入居者様の訴えや希望を考えカンファレンスを行っています。ケアプランの内容に意向を取り入れて、作成しています。	介護計画は、入所時のアセスメントシートを参考にしている。それを6ヶ月毎に更新している。モニタリングも半年に1回行い、過去の記録を見直して、カンファレンスの際に活かしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は介護記録に記録しています。特に職員間で共有が必要な内容(主治医のアドバイスなど)については申し送りノートや受診ノートを活用し全員で確認しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様やご家族様の意向をお聞きして、出来る範囲で応えられるように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事を把握し、積極的に参加していましたが、今年度はできていません。散歩の時には、地域の方や子供たちとの会話を楽しまれ、花や野菜作りを見学させていただいています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に主治医の往診や歯科の往診を受けています。体調に変化があれば、すぐに主治医に連絡し、対応を相談しています。	入居時にかかりつけ医は母体の病院に転医される方がほとんどである。かかりつけ医を変えない人は、家族に連れて行って頂いている。他科へは、母体の病院が紹介した病院へ診察して頂いている。訪問歯科が週1回往診され、歯磨き指導などをして嚥下にも役立っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在、看護師資格を保有している職員が在職しています。かかりつけ医の看護師と常に連絡、相談ができる体制がとられています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には入院先の医療機関に施設での生活の様子を情報提供をしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にご本人様・ご家族様に相談をしていますが、体調に変化があった時には主治医を含めて再度説明を行い、理解を得ています。	ターミナルは実施していない。入居時にできること、できないことを説明して、同意を得ている。ギリギリまでGHIに居て、病院に転院された人がいて、今まで「よく頑張ってくれた」とのお褒めの言葉を貰ったことが、より一層の励みになっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故の発生に備え、職員会議の場で話し合いや勉強会を行っています。日中や夜間の緊急対応についてのマニュアルを作成しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	今年度は、夜間想定防災訓練を実施しました。地域の防災訓練の実施はありませんでした。	年2回、火災訓練を昼夜想定で実施した。備蓄は3日分で、水、ビスコ、カンパン、お粥を保管している。普段のお菓子も備蓄となっている。事務所に連絡網、交流室にハザードマップを掲示し、万一のときの対応もスムーズにできる計らいもしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけや対応にその方の尊厳を失わないように、日頃から心掛けています。自立されている入居者様は、奥のトイレに誘導したり、直接的な表現はしないよう言葉遣いに気を付けています。	呼称は、管理者の思いもあって、あえて下の名前と呼ぶようにしている。利用者の呼んでほしいように呼んでいる。喋れない人には、必ず言葉掛けをして、表情や仕草で読み取るようにしている。居室に入る時は必ずノックをして「入ります」と言葉をかけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々係る中で、ご本人様が自分の思いを自由に表せるような雰囲気を作り、声をかけるようにしています。また、ご本人様に何でも決定できるような働きかけを行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人様のペースを尊重しながら、生活を送っていただけるよう心掛けています。その日に何をしたいかなどを問いかける工夫をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	気候に合った身だしなみが行えるように、アドバイスをしています。また、ご自身で選択ができない場合には職員が声掛けをしながら、一緒に服を選ぶようにしています。また、女性の入居者様にはイベント時にお化粧をしていただいたりしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を外部の業者に委託しているため、片付けや洗い物は一緒にしています。時間に余裕をもって味噌汁作りやイベント時には調理も手伝っていただき、一緒に食事時間を作るようにしています。	食事はケイタリングだが、月1回のイベントで焼きそばを作り、職員同士が和気藹々として作っている様子を目の当たりにした。職員も利用者と一緒に食事するので食卓の雰囲気が良く、会話が飛び交い、みんなの笑顔が印象的だった。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量は摂取ごとに記録しています。水分はなかなかとりにくい方もおられるので何種類か飲み物を用意し、提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアをしていただけるように声掛けや見守り、介助を行っています。希望者には訪問歯科による歯科診療・口腔ケアを行っています。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を使用し、個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っています。また、職員間での情報共有や情報交換に努めています。夜間頻尿や日中失禁回数の多い入居者様にはトイレ誘導の回数を増やしています。	各ユニット3か所ある。排泄チェック表を活用しているため、スムーズにトイレへの誘導ができています。排泄失敗時には、「大丈夫、大丈夫」と言って、周りにわからないようにパット交換をパットとしている。羞恥心に配慮して接している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	職員会議の際に、便秘についての勉強会を開き原因対策を学んでいます。適度な運動、水分摂取ができるように心がけできるだけ薬に頼らず排便ができるように取り組んでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	体調を考慮し声掛けを行っています。一人一人の希望を聞いて湯の温度を変えたり入浴剤を入れ入浴時間を楽しんで頂いています。	基本は週2回だが、夏場は週3回。窓からは広大な自然の風景が眺められ、湯船に浸かると落ち着く。浴槽にチェアを導入したことで、安全に入浴できるようになった。「ワンちゃんと一緒に入ろう」と言葉かけをして、お風呂へ誘導していて、入浴剤も楽しむ効果が大である。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人様のペースに合わせて休息をいただいています。また、就寝に向けてリラックスできるような工夫を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人のお薬情報を整理してファイルに保存しています。個別の薬ケースで薬を管理しています。服薬確認の際には名前、日付を声に出し確認してから服薬していただいています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	テーブル拭き、洗濯物の干し、畳み食器洗いなど、その人その人ができることを役割としていただけるよう働きかけを行っています。また、それぞれがやりたいことができる時間を作っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩の付添いのみの支援でした。	遠出が出来ないので、近隣の桜の木の下に散歩へ行った。ボール・紙風船やラケットでボールを打ったり、ダンスや歌、クイズ大会などを開催して、フラストレーションを解消している。気楽にエアロバイクにまたがれ、運動不足の解消を図っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預り金として事務所の金庫に保管しています。外出困難なため入居者様がお買い物や支払いをされるような支援はできませんでした。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	要望があればすぐに対応しています。いつでも自由にやり取りができます。写真入りの年賀状も出せるように支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	整理整頓を心掛け、季節のお花をご入居者に生けていただき飾っています。フロアでも季節感ができるように職員とご入居者で飾り物を作り、デコレーションしています。室内温度、湿度にも気を付けてこまめに調節するように心掛けています。	玄関に節分、ひな祭りの行事の写真が飾られていて、職員・利用者の笑顔で元気な様子を見ることができた。リビングでは、毎朝の体操を実施することで健康維持に繋げている。壁面には、利用者の作成した塗り絵やひなまつりの作品が飾られていて、リビングを賑やかしていた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル席やソファを配置し、ご入居者様同士が自由に行き来し、くつろげる工夫をしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使い慣れた家具や思い出の品々などを居室に持参してもらっています。家庭的な雰囲気を作り、心地よく過ごしていただけるように工夫しています。	備え付けは、必要最小限のベット、エアコン、カーテンで装い、大好きなぬいぐるみを置いたり、読書をしたりして、自分の好きに工夫できる居室になっている。壁面には、カレンダーに毎日の日記をつけたり、誕生日の色紙を飾っていて、生きている証を見ることができた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ユニット内・居室内の整理整頓を心掛け、転倒防止に努めています。また、施設内のほぼすべての場所には手すりを配置し、トイレの場所もわかりやすいようにポスターも掲示しています。		